

2015 APRU-IRIDeS Multi-Hazards Summer School (2015/7/21-24)

場所：東北大学災害科学国際研究所，多賀城市，東松島市

参加者：牧野嶋 (M2)

当研究室 M2 の牧野嶋が APRU-IRIDeS Multi-Hazards Summer School に参加し，環太平洋の大学（オーストラリア，カナダ，中国，インドネシア，日本，ニュージーランド，フィリピン，シンガポール，タイ，アメリカ）から集まった若手研究者とともに，産・学・官の講師の講義を受講，東北の津波被災地（多賀城市，東松島市）の巡検を行い，今年の3月に仙台市で行われた国連防災世界会議で採択された仙台行動枠組みを受けて，我々ができることを議論しました。

講義では，東日本大震災の振り返り，IRIDeS の社会貢献の取り組みや，連携する企業とのプロジェクトについて，知識を世界中の参加者と共有し，震災以降の新しい減災の取り組みを学びました。被災地巡検では，多賀城市と東松島市を訪れ，復興の状況を視察するとともに，多賀城高校と協働してフィールドワークを行い，この様子はメディアにも取り上げられました。最終日には，サマースクールの成果を踏まえて，また，仙台行動枠組みを受けて，アカデミアとして，我々ができること，すべきことを議論し，将来に向けた提言をまとめました



レクチャー風景



グループワークのようす



フィールドトリップのようす



参加者集合写真